



生徒一人一人のよさを見極め、称賛し、夢と希望を育む学校

# 南中だより7月号

羽生市立南中学校

令和6年 6月27日発行

## 「修正力」があなたをさらにたくましくする

校長 堀越 成夫

4月の新しい年度のスタートから3か月が経ちました。生徒のみなさんは順調な流れの中で学校生活を送っています。5月には、3年生は「修学旅行」に出発し、予定どおり奈良・京都を訪れることができました。6月の「体育祭」でクラスや学年の団結を深めることができました。また、北埼玉地区夏季総合体育大会で、どの運動部活動も熱気を帯びた熱い大会となりました。3年生は夏季大会でも、修学旅行でも一人一人がとても輝いてみえました。それは、生徒一人一人、みなさんが主体的に活動に参加し、目的意識をもってそれぞれの行事に参加したからに他なりません。南中の生徒の人間力の高さを感じました。とても素晴らしいことだと思います。

7月となり、夏休みに入ります。8月末まで授業はありませんが、この7月、8月をどう生活するかでそれぞれの成長の中身が変わってきます。1学期に身につけた生活習慣を維持し、学習面でも生活面でも、自分なりに目標を立てることが大切になります。「なりたい自分」を見定めることです。

「今の自分」を見つめ、「なりたい自分」をイメージします。そして、「なりたい自分」になるためには、何をしたらよいか考えるのです。

同じ教育を受けているのに成果が人によって違うのは何故でしょうか？それは、本人に目標があるかないかだと思います。目標のある人は、学ぶことを大切にしています。わかるまで、自分が納得いくまで、さらに学ぼうとしています。反対に目標のない人は、やらない理由ばかりを考えています。できない理由、やらない理由はいくらでも考えることができます。でも、そんなことの繰り返しでは、学習や生活面でも成果が上がるはずがありません。

目標を立てること、目標ができたなら実際に何をどうするか作戦を立てること、そしてその作戦を実際に行ってみてください。うまくいっていない場合には、どうしたらうまくいくのかどうか、新しい作戦を立ててみましょう。プロのスポーツ選手がよく使う「修正」という作業です。先生や友だちの評価を気

にする前に、自分で点検できるようになるとあなたはかなり優秀です。はじめから目標を簡単に達成できるはずがありません。作戦をこまめに「修正」できる力を身につけることが一番確実なやり方だと思います。反対に簡単に目標を達成してしまった人は、立てた目標が低すぎたのかもしれない。

最近よく「ホットヨガ」という言葉を耳にします。ヨガ哲学に『ヴァークタパス（言葉の修行）』というものがあります。それは自分の考え、言葉、行いを正し、また律する修行です。他人を傷つける言葉や嘘、マイナスな言葉を口にせず、慈愛のある、優しく、気持ちのよいプラスの言葉が口から出ていくように言葉をコントロールすることを意識するのだそうです。どの世界からでも教わるものはたくさんあるものですね。



日	曜日	予 定	日	曜日	予 定
1	月		17	水	学期末特別日課（4時間） 大掃除 給食終了
2	火		18	木	学期末特別日課（3時間）
3	水	夏季総合体育大会（陸上）	19	金	終業式（部活動中止）
4	木	月例費引き落とし	20	土	
5	金	1学期末PTA	21	日	夏季休業日（8月28日まで）
6	土		22	月	三者面談及び表札・家庭訪問 （8月2日まで）
7	日		23	火	
8	月		24	水	
9	火	ミニ販売会（678910組）	25	木	
10	水	実力テスト（3年） ミニ販売会（678910組）	26	金	
11	木		27	土	
12	金	学期末特別日課（5時間）	28	日	
13	土		29	月	
14	日		30	火	
15	月	海の日	31	水	
16	火	学期末特別日課（5時間）			

自己啓発の日：5日、10日、17日

下校指導：10日、17日